

多里（新屋）の「さくら」スポットご存じですか！

地域の皆さんが桜と公園の管理活動をされています。

「桜公園を守る会」会長の山本吉文さんにお話を伺いました。

◇いつからどのようなきつかけで始められましたか。

平成27年から活動をはじめました。

多里遺族会が平成2年ごろソメイヨシノを植樹し、管理されていたようです。遺族会員の高齢化等で平成18年頃には、管理が厳しい状態のようでした。

その状況を見て平成25年に「桜公園を守る会」を設け、手入れ他の活動を始めました。

◇活動について教えてください。

毎年春、夏、秋に下草刈りや間伐等の作業をしています。

公園の整備が出来ましたので、桜の開花シーズンには入口に看板の設置やライトアップ、ぼんぼりの飾りつけをしています。平成30年には遊歩道も整備し、より公園らしくなりました。ドローンによる空撮も行っています。

これらの活動が評価され、令和元年度には「公益財団法人日本さくらの会」からさくらの保護・育成に尽力した団体として「さくら功労者」に選ばれ表彰していただきました。



◇活動上困っておられることはありますか。

公園を樹木とともに管理することは、なかなか大変です。病気になった木も多く伐採も必要で、年間3回は作業しますが参加者は増えません。今後は、地域外の方にも広く呼びかけが必要と考えています。

皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

◇今後、どのような活動を考えておられますか。

公園内にベンチやトイレを設置し、来園されたみなさんにゆつくりと楽しんでいただけるようなおもてなしを考えています。また、長期間楽しんでいたただけるよう、しだれ桜などの植樹も3月に行う予定です。

※桜も満開だけでなく、桜吹雪舞う落花のころも美しい春の風景です。この美しい風景を楽しめるもの、地域の皆さんの作業活動があるからです。このご苦労も感じながら春の里山（新屋の桜公園）を訪ねてみられませんか。

気候にもよりますが、3月下旬から4月上旬が見頃のようです。ただ、日中は「ブト」が多いので虫よけ対策が必要です。

にちなん子ども応援隊だより

No. 83

先日、今年度ボランティアに参加してくださった方へアンケートを行ったところ、嬉しい言葉をいただきましたので、一部をご紹介します。

○マラソン大会のボランティアに参加してみて、子ども達の頑張っている姿が間近に見えて嬉しかった。子ども達の頑張る姿は大人も元気にしてくれると思った。

○児童とふれあう機会がほとんどないので、楽しみにしています。

○学校以外でも、地域で出会った時に児童が声をかけてくれる。

○一住民だと、なかなか学校に足を運ぶ機会もなく、学校を身近に感じることは少ないと思いました。学校もコーディネーターも子どもや地域に心を砕いてくださっていると思います。

○私にとって、子どもさん達との距離が身近に感じられました。例えば、本の修理をしていると、何人かの子どもさんが来られ、「私もやりたい。」と言われ、「じゃあ、手伝って。」

という感じでおしゃべりをしながら作業をしていると、普通の会話ができたりし、また、子どもさんの得手不得手が見えたり、それを友達同士で教え合っている姿が見られたりします。廊下で出会うと声をかけてくれ、ハイタッチをしてくれる子どもさんもあります。私の一番の思い出は、紙芝居の読み聞かせを、私のためにしてくれた子どもさんです。当番の日には、今日はどんな紙芝居を読み聞かせしようと思ったり、本も本棚から選んだりして、私のために読み聞かせしてくれる子どもさんと仲よくなるきっかけを作ってくれました。子どもさん達に改めて私も成長させてもらった気持ちです。

にちなん子ども応援隊はいつでもボランティアを募集中です。

連絡先…日南町教育委員会(0859-82-1118)

コーディネーター携帯

(080-5232-7712)

